

福祉班の業務と保健との連携について

平成27年8月6日保健所運営協議会
宮古福祉保健所福祉班

構成

1. 福祉班の概要
2. 福祉班の業務内容
3. 保健との連携事業

1. 福祉班概要

班長一主任5名一嘱託3(女性相談員1・母子協力員2)

- (1)生活保護(査察指導員1名・ケースワーカー1名)
- (2)介護保険(老人福祉を含む)(主任1名)
- (3)障害福祉(主任1名)
- (4)母子父子寡婦福祉(主任1名・歳入1名・嘱託2名)
- (5)児童福祉(主任1名)
- (6)地域福祉(主任1名)
- (7)配偶者暴力相談支援(主任1名・嘱託1名)
- (8)生活困窮者自立支援(主任1名)

2. 福祉の業務内容

(1) 生活保護(生活保護法)

①目的:昭和25年に憲法第25条の生存権の保障の理念に基づき制定施行され、国民の最低限の生活を保障するとともに、その自立を助長することを目的とする。

②保護の要件:生活委保護は申請保護を原則とし、生活に困窮するものが、その利用しうる財産、能力、その他あらゆるものを最低限度の生活維持のために活用することを原則とする。

③保護の種類:生活扶助、教育扶助、住宅扶助、医療扶助、介護扶助、出産扶助、生業扶助、葬祭扶助

④保護の基準:保護の基準は所在地、年齢別、世帯構成により厚生労働大臣が定める。

級地区分 1級地～3級地

※宮古島市:3級地の1 多良間村:3級地の2

⑤保護受給の状況

当福祉保健所管内(多良間村) 17世帯 26名(20.98%)

宮古島市 840世帯 1,111名(20.32%)

沖縄県 25,641世帯 34,840名(24.00%)

(2) 老人福祉(老人福祉法)

①目的:老人(65歳以上)に対し、その心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な措置を講じ、もって老人の福祉向上を図る。

②業務:管内における老人の状況把握、老人週間行事等

※高齢化率・・・人口に占める65歳以上が7%以上は高齢化社会、14%以上は高齢社会、20%以上は超高齢社会となる。

平成26年度末現在

宮古全域 13,062人 23.6%

(宮古島市 12,729人 3.5% 多良間村 333人 27.5%)

(3) 介護保険(介護保険法)

①業務:介護保険事業所の申請認可、変更届、事業所の実地指導

※管内の要介護(要支援)認定者、利用者(平成25年度末)

認定者3,106人、利用者2,317人

(4) 障害者福祉

(1) 身体障害者福祉(身体障害者福祉法)

①目的:「身体障害者」とは、身体障害者手帳の交付を受けた18歳以上のもの(18歳未満は障害児)とされており、身体に障害を持つ人々の更正を援護し日常生活能力の回復を図り、早期に社会復帰できるよう援護する。

②業務:管内の身体障害者(児)の実態把握、総合支援法の事業所実地指導、身障スポーツ大会の行事参加、特別障害者手当の認定及び支給等

・身体障害者手帳保持者数:2,783名(平成26年度)

宮古島市:2,704名 多良間村:79名

・施設等のサービス利用状況:163人(平成26年度)

宮古島市:島内141人・島外:22人 多良間村:0人

・事業所数 県内事業所:99ヶ所(うち県指定事業所:82ヶ所)(平成26年度)

・実地指導件数:6事業所(平成26年度実績)

(2)知的障害者福祉(知的障害者福祉法)

①目的:知的障害者は、諸々の原因によって知的能力の発達が遅滞し、そのため身辺処理及び社会適応性が困難となっており、社会的、経済的にも弱い立場にあり、これらの知的障害者の福祉向上を図る。

②業務:管内知的障害者の実態把握、療育手帳の交付、特別障害者手当の支給、支援費指定事業所の実地指導等

・療育手帳保持者:466人(平成26年度)

宮古島市:463人 多良間村:3人

・施設等のサービス利用状況:201人(平成26年度)

宮古島市:島内188人・島外13人 多良間村:0人

(5) 母子父子寡婦福祉(母子・父子・寡婦福祉法)

(1) 目的: 母子家庭及び福祉家庭並びに寡婦家庭に対し、その生活の安定と向上のため資金を貸し付け、経済的自立と生活意欲の助長を図り、母子協力員を活用して生活相談等を行う。

(2) 業務: 母子、父子、寡婦福祉資金の貸し付け、貸付金の償還業務、生別母子に関する遺棄調査等

・地区別ひとり親世帯の状況: 958世帯(3.7%) (平成26年度末)

宮古島市: 940世帯(3.8%) 多良間村: 18世帯(3.5%)

・地区別ひとり親世帯の生活保護受給状況: 38世帯(4.0%) (平成26年度末)

宮古島市: 36世帯(3.8%) 多良間村: 2世帯(11.1%)

・母子福祉資金貸付状況(平成26年度)

貸付件数: 5件

貸付金額: 2,811千円

(6) 児童福祉(児童福祉法)

①目的:法の理念に基づき、児童養育の適正化等、家庭における児童福祉の向上を図るため、満18歳未満の児童問題について相談を受けその解決に向けた指導援助を行う。

②業務:家庭児童相談室をとおした管内児童の実態把握、公立保育所指導監査、心身障害者扶養共済制度、助産施設措置事務、里親制度啓発、児童福祉週間行事等

・家庭児童相談室における相談件数:33件(平成26年度)

宮古島市:0件 多良間村:33件

・市村別助産施設入所措置件数:4件(平成26年度)

宮古島市:4件 多良間村:0件

・児童福祉行政指導監査実施状況:公立保育所11ヶ所(平成26年度)

宮古島市:10ヶ所 多良間村:1ヶ所

(7) 地域福祉関係

(1) 業務: 民生委員法に基づく、民生委員・児童委員に対する研修、社会福祉協議会の指導監査等

◎宮古管内民生委員・児童委員配置状況 現員: 123名(12)(平成26年度末)

- ・平良第一民児協 定数: 30名(2) 現員: 29名(2)
- ・平良第二民児協 定数: 33名(2) 現員: 32名(2)
- ・城辺民児協 定数: 24名(2) 現員: 23名(2)
- ・伊良部民児協 定数: 21名(2) 現員: 19名(2)
- ・下地・上野民児協 定数: 16名(2) 現員: 16名(2)
- ・多良間村民児協 定数: 5(2) 現員: 4名(2)

※()は主任児童委員の人数

◎社会福祉協議会指導監査実績(平成26年度)

- ・1ヶ所(多良間村社会福祉協議会)

(8)DV相談関係(配偶者暴力防止法)

①業務:平成18年度、宮古福祉保健所に「配偶者暴力相談支援センター」を設置、配偶者からの暴力の防止、被害者の保護や自立のための必要な相談、指導、助言を行っている。

- ・被害者に関する各般の問題についての相談
- ・被害者及びその同伴する家族の一時保護等に関する諸手続
- ・被害者が自立して生活することを促進するための各制度の利用についての情報提供、助言、関係機関への連絡等
- ・保護命令制度の利用についての情報提供、助言、関係機関への連絡等
- ・被害者を居住させて保護する施設の利用についての情報提供、助言、関係機関への連絡等

②相談状況:138件(平成26年度)

- ・主訴別では夫の暴力が79件と最も多い。
- ・経路別では本人自身が120件ともっと多く、次に警察関係が10件となっている。

保健との連携事業

1 障害者の相談支援に係る連携事業

(1) 事業概要

障害者総合支援法により、障害者のニーズを的確に把握し、そのニーズに応えるために相談支援体制の構築を協議、検討する場として、都道府県及び市町村において、地域自立支援協議会を設置することになっている。

県においては、地域の自立支援協議会の設置を支援し、圏域における自立支援連絡会議を設置し、県全体の相談支援体制の構築を図るとともに、市町村の相談支援体制と連携していく。そして、圏域に連絡会議を設置することにより、地域の実情にあった相談支援事業を行うことができ、なおかつ近隣自治体との情報交換の場となり、相談支援体制が全面的に広がることが期待できる。

(2) 取り組み状況

- ・宮古島市自立支援協議会設置(平成19年12月)
- ・多良間村自立支援協議会設置(平成20年2月)

(3) 平成26年度開催状況

- ・宮古島市自立支援協議会開催(H26.6・H27.3)
- ・宮古圏域自立支援連絡会議開催(H27.3)

2 宮古地区障害者等歯科治療推進協議会

(1) 事業概要

沖縄県では、厚生労働省派遣医師の協力を得て、重度身体障害者(児)に対して全身麻酔下歯科治療事業を行っており、宮古地区では、昭和60年度から平成24年度までに延べ159人の治療実績がある。

宮古地区については、障害者歯科治療の体制が整っている地域の一つであり、地域協力歯科医が現在15名いる。この現状を踏まえて、宮古地区において全身麻酔下歯科治療事業については平成24年度をもって終了し、今後は地域内での歯科治療及び全身麻酔下歯科治療をおこなうこととなった。

当所では障害者等が必要な歯科治療を受診できるよう平成21年3月に「宮古地区障がい者等歯科治療推進協議会」を立ち上げて、宮古地区の障害者等に対し、一連の歯科治療が地域で受診できる地域完結型の体制の構築に向けて協議を行った。

(2) 取り組み状況

同協議会において、これまで協議会を7回、作業部会を15回開催し、「障害者歯科の医療機関の連携」や「かかりつけ歯科医の普及啓発」について議論を行った結果、宮古地区においては一定程度の歯科治療体制が整ってきた。

よって、当協議会は平成26年度をもって終了とし、今後は当事者等から要望があれば、宮古地区歯科医師会、沖縄県立宮古病院及び各相談窓口(宮古福祉保健所、宮古島市、多良間村、各相談事業所)が互いに連携し、随時話し合いの場を設け、課題解決に向けて取り組んで行くこととなった。

3 その他関連関係

(1) 宮古圏域発達障害児(者)支援者研修会

当所においては、平成25年度より「琉球大学教育学部発達支援教育実践センター」の協力を得て、多良間村において支援者及び一般向けに「発達障害についての普及啓発及び理解促進を図ること」を目的に研修会を開催している。

【開催状況】

○平成25年度：12月開催 多良間村塩川集落センター

・対象：保育園、幼稚園、小中学校教諭、障害福祉関係機関、一般

○平成26年度：10月開催 多良間小学校(視聴覚室)

・対象：保育園、幼稚園、小中学校教諭、障害福祉関係機関、一般

○平成27年度：7月開催 多良間村コミュニティセンター

・対象：保育園、幼稚園、小中学校教諭、障害福祉関係機関、一般

(2) DV相談関連

相談者の状況に応じて保健師の同席を依頼し、情報交換及び以後の支援について連携を図る。

(3) 児童福祉関連

公立保育所指導監査の際には、衛生監視員の協力を得て、厨房の検査を依頼している。

ご静聴ありがとうございました。

1 生活保護

(1) 生活保護の状況

多良間村の状況としては、被保護世帯数及び保護率共に微増傾向にある。

表1 人口、被保護世帯、被保護人員、保護率の推移 (年度平均)

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
沖縄県	人口	1,414,196	1,427,032	1,432,523	1,444,879	1,451,030
	被保護世帯	19,983	21,551	23,170	24,393	25,641
	被保護人員	29,029	30,844	32,696	33,995	34,840
	保護率	20.53	21.70	22.82	23.53	24.00
宮古島市	人口	54,470	54,450	54,987	54,953	54,659
	被保護世帯	688	732	778	803	840
	被保護人員	1,003	1,040	1,080	1,081	1,111
	保護率	18.25	18.93	16.32	19.67	20.32
多良間村	人口	1,320	1,285	1,279	1,269	1,239
	被保護世帯	17	16	18	19	17
	被保護人員	26	25	26	27	26
	保護率	20.70	19.50	20.66	21.41	20.98

※保護率単位：％（％は1,000人に対する割合）

表2 宮古福祉保健所管内（多良間村）年度別、生活保護の種類別、被保護世帯及び人員の年次推移 (年度平均)

扶助種類 年度別	生活扶助		住宅扶助		教育扶助		医療扶助		出産扶助		介護扶助		葬祭扶助		生業扶助	
	世帯	人員	世帯	人員	世帯	人員	世帯	人員	世帯	人員	世帯	人員	世帯	人員	世帯	人員
平成22年度	15	22	5	8	1	2	15	18	0	0	2	2	0	0	1	2
平成23年度	14	22	6	10	1	3	11	12	0	0	1	1	0	0	1	1
平成24年度	16	25	7	12	2	3	12	14	0	0	3	3	0	0	1	1
平成25年度	17	25	7	14	2	4	13	17	0	0	3	3	0	0	1	2
平成26年度	17	25	8	14	1	2	11	13	0	0	3	3	0	0	1	2

区分	総数		高齢者世帯		母子世帯		障害者世帯		傷病者世帯		その他世帯	
	構成比		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比	
宮古島市	839	100.0	415	49.5	37	4.4	101	12.0	146	17.4	140	16.7
多良間村	18	100.0	12	66.7	1	5.6	2	11.1	1	5.6	2	11.1
計	857	100.0	427	49.8	38	4.4	103	12.0	147	17.2	142	16.6

高齢者世帯が高い割合を占めている。

区分	総数	稼働世帯						非稼働世帯
		総数	世帯主が働いている世帯				世帯員が働いている世帯	
			常用	日雇	内職	その他		
宮古島市	838	136	41	39	15	18	23	702
多良間村	17	1	0	0	1	0	0	16

※四捨五入の関係で、表3の総数と表4の総数が一致しないことがある。

年度区分	保護申請世帯数	開始		廃止	
		世帯数	人員	世帯数	人員
平成22年度	8	7	9	4	4
平成23年度	1	1	1	3	4
平成24年度	6	3	5	0	0
平成25年度	2	2	2	3	3
平成26年度	2	2	2	3	4

年度区分	総数	疾病によるもの		疾病によらないもの										転入		
		世帯主	世帯員	働いていない者の死亡	働いていたものの別離	働きによる収入の減少・喪失				要介護状態	社会保障給付金の減少・喪失	減少・喪失の仕送りの減少・喪失	預貯金等の減少・喪失		その他	
						定年・失業	老齢によるもの	事業不振・倒産	その他							
平成22年度	7	4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
平成23年度	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成24年度	3	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
平成25年度	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
平成26年度	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0

表6については、世帯主の疾病による収入の減・支出の増、預貯金の減少・喪失が主な開始理由となっている。

	総数	疾病の治癒		働きの増加	働きの転入	死亡	失踪	給付費の増加	社会福祉保障	収入の増加	仕送り等、働きの少ない	親類・縁者等の引き取り	施設入所	医療費の他法負担	転出	その他	
		世帯主	世帯員														
平成22年度	4	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
平成23年度	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
平成24年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成25年度	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
平成26年度	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1

表7については、死亡及び転出が主な廃止理由となっている。

項目 年度	被保護人員	入院				入院外				医療扶助人員	医療扶助率（%）
		結核	精神	その他	計	結核	精神	その他	計		
平成22年度	26	0	0	2	2	0	0	16	16	18	68.31
平成23年度	25	0	0	2	2	0	0	9	9	11	46.54
平成24年度	26	0	0	1	1	0	0	12	12	13	51.14
平成25年度	27	0	0	2	2	0	0	15	15	17	61.04
平成26年度	26	0	0	0	0	0	0	13	13	13	51.63

※四捨五入の関係で、入院計及び入院外計の合計と医療扶助人員数が一致しないことがある。

	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
入院	37	15,239,900	29	12,245,245	22	7,990,722	41	19,953,330	6	3,425,342
入院外	130	1,992,390	111	1,857,540	166	2,780,490	204	3,585,460	172	3,112,380
歯科	39	1,092,580	21	632,150	18	462,720	15	372,680	34	661,320
調剤	13	234,470	8	59,490	26	140,330	25	244,160	17	276,250
訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	219	18,559,340	169	14,794,425	232	11,374,262	285	24,155,630	229	7,475,292
月平均	18	1,546,612	14	1,232,869	19	947,855	24	2,012,969	19	622,941

扶助別	年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
		生活扶助	11,231,348	10,461,605	12,897,079	14,092,777
住宅扶助		871,210	1,146,032	1,213,300	1,413,183	1,432,860
実教育扶助		289,911	365,949	366,260	497,476	233,720
介護扶助		170,539	0	0	196,552	3,400
医療扶助		133,940	73,044	156,170	318,406	436,454
数出産扶助		0	0	0	0	0
生業扶助		322,753	161,305	145,450	317,215	254,400
葬祭扶助		0	0	0	0	183,600
保護費総額		13,019,701	12,207,935	14,778,259	16,835,609	15,477,882

※医療扶助費用については、表9：診療報酬確定額を除いた金額である。

2 介護保険

(1) 介護保険の利用者

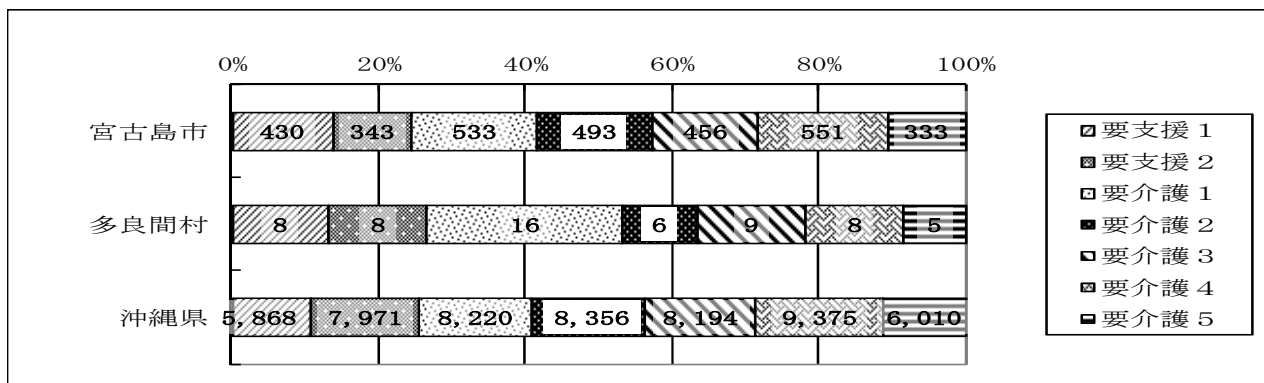
表 1 被保険者数、認定者数及びサービス受給者数

平成 26 年度末現在

	宮古島市			多良間村			宮古地域合計		
	総数	65～74	75歳以上	総数	65～74	75歳以上	総数	65～74	75歳以上
第1号被保険者数	12,641	5,338	7,303	340	144	196	12,981	5,482	7,499
認定者数	3,051	317	2,734	54	4	50	3,105	321	2,784
認定者数／被保険者数	24%	6%	37%	16%	3%	26%	24%	6%	37%
受給者数	2,633	249	2,384	53	3	50	2,686	252	2,434
受給者数／被保険者数	21%	5%	33%	16%	2%	26%	21%	5%	32%

出典：宮古島市、多良間村まとめ

表 2 要介護（要支援）度の分布



出典：介護保険事業状況報告
(平成 26 年 12 月)

表 3 指定及び指定更新等の実施状況

平成 26 年度末現在

	指定	更新	実地指導
訪問介護	3	5	9
訪問入浴介護	0	0	0
訪問看護	3	0	3
福祉用具貸与	0	1	1
特定福祉用具販売	0	0	1
通所介護	2	1	12
通所リハビリ	0	0	0
居宅介護支援	3	6	10
介護予防訪問介護	3	2	9
介護予防訪問入浴介護	0	0	0
介護予防訪問看護	3	0	3
介護予防福祉用具貸与	0	0	1
介護予防特定福祉用具販売	0	0	1
介護予防通所介護	2	0	12
介護予防通所リハビリ	0	0	0
合計	19	15	62

表 4 宮古地域の地区別介護保険事業所等

平成 26 年度末現在

	平良	城辺	下地	上野	伊良部	多良間	合計
訪問介護	30	3	1	1	5	0	40
訪問入浴介護	0	0	1	0	1	0	2
訪問看護	35	2	1	1	4	2	45
訪問リハビリ	26	2	1	1	4	2	36
居宅療養管理指導	38	2	2	2	5	2	51
福祉用具貸与	6	0	0	0	1	0	7
特定福祉用具販売	6	0	0	0	1	0	7
通所介護	23	2	3	0	3	1	32
通所リハビリ	5	0	1	0	1	0	7
短期入所生活介護	3	0	1	0	1	0	5
短期入所療養介護	3	0	1	0	0	0	4
特定施設入居者生活介護	4	0	0	0	0	0	4
居宅介護支援	30	2	3	0	5	1	41
夜間対応型訪問介護	1	0	0	0	0	0	1
認知症対応型通所介護	1	0	0	0	0	0	1
小規模多機能型居宅介護	2	2	0	1	2	0	7
認知症対応型共同生活介護	4	0	2	0	1	0	7
複合型サービス	1	0	0	0	0	0	1
介護老人福祉施設	3	0	1	0	1	0	5
介護老人保健施設	1	0	1	0	0	0	2
介護療養型医療施設	2	0	0	0	0	0	2
合計	224	15	19	6	35	8	307

3 障害者福祉

表 1：年度別事業所数及び実地指導件数 (単位：件)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
圏内事業所	34	37	66	80	99
うち県指定事業所	34	37	58	71	82
実地指導事業所	3	3	6	8	6

表 2：身体障害者手帳保持者数の年度別推移 (単位：人)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
宮古島市	2,298	2,325	2,332	2,617	2,704
多良間村	76	75	66	67	79
宮古全域	2,374	2,400	2,398	2,684	2,783

表 3：身体障害者手帳の障害別交付状況 平成26年度(単位：人)

町村別 \ 障害別	視覚	聴覚平衡	音声・言語・咀嚼	肢体	内部	ぼうこう直腸	総数
宮古島市	242	408	36	1,202	743	73	2,704
多良間村	3	13	0	37	25	1	79
宮古全域	245	421	36	1,239	768	74	2,783

※内部障害は、心臓・腎臓・呼吸器機能障害の合計である。

表 4：身体障害者手帳の等級別交付状況 平成26年度(単位：人)

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	総数
視覚	134	57	8	16	20	10	245
聴覚	35	115	49	78	0	144	421
音声・言語・咀嚼	0	2	28	6	0	0	36
肢体	328	403	212	183	77	36	1,239
内部	495	9	167	97	0	0	768
ぼうこう・直腸	1	0	6	67	0	0	74
総数	993	586	470	447	97	190	2,783

表 5：身体障害者手帳の年代別交付状況 平成26年度(単位：人)

年齢別 \ 障害別	視覚	聴覚平衡	音声・言語・咀嚼	肢体	内部	ぼうこう直腸	総数
65歳以上	186	315	16	763	560	50	1,890
60～64	19	14	4	128	82	8	255
50～59	22	18	9	179	73	12	313
40～49	10	40	4	67	28	1	150
30～39	3	8	2	56	14	0	83
20～29	4	11	1	19	6	1	42
18～19	0	3	0	1	0	0	4
18歳未満	1	12	0	26	5	2	46
総数	245	421	36	1,239	768	74	2,783

表 6 : 施設等サービスの利用状況

平成26年度 (単位:人)

	島内施設		島外(県内)施設		計
	入所施設	通所事業所	入所施設	通所事業所	
宮古島市	46	95	22	0	163
多良間村	0	0	0	0	0
総 数	46	95	22	0	163

◎ 特別障害者手当等の支給

特別障害者手当等は在宅で生活している重度障害者に対し、経済的、精神的負担の軽減の一助として支給する援護措置である。

(ア) 対象者

a 特別障害者手当

精神又は身体に著しく重度の重複障害があるため、日常において常時特別の介護を必要とする程度の状態にある 20 歳以上に支給する。

b 障害児福祉手当

精神又は身体に重度の重複障害があるため、日常生活において常時の介護を必要とする 20 歳未満に支給する。

c 経過的福祉手当

従来福祉手当の受給資格者のうち、特別障害者手当の支給要件に該当せず、かつ、障害基礎年金も支給されない者に対する経過措置として支給する。

(イ) 手当額(月額)

平成 26 年度末まで

平成 27 年 4 月～

a 特別障害者手当

26,000 円

26,620 円

b 障害児福祉手当

14,140 円

14,480 円

c 経過的福祉手当

14,140 円

14,480 円

表 7 : 特別障害者等の支給状況

(平成26年度実績)

区分	特別障害者手当		障害児福祉手当		福祉手当(経過措置)	
	実人員	金額(円)	実人員	金額(円)	実人員	金額(円)
宮古島市	1,398	36,367,120	329	4,654,140	0	0
多良間村	0	0	0	0	0	0
総 数	1,398	36,367,120	329	4,654,140	0	0

表 9 : 宮古地区の療育手帳保持者及び新規交付の年度別推移

年度	手帳保持者(児)数	新規交付件数
平成22年度	395	12
平成23年度	426	18
平成24年度	447	24
平成25年度	447	14
平成26年度	466	17

第 10 : 宮古地区における療育手帳交付状況

平成26年度 (単位:人)

地区村名	知的障害児					知的障害者					交付総数				
	A1	A2	B1	B2	計	A1	A2	B1	B2	計	A1	A2	B1	B2	計
宮古島市	7	15	24	23	69	37	100	157	100	394	44	115	181	123	463
多良間村	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	0	1	1	1	3
合計	7	15	24	23	69	37	101	158	101	397	44	116	182	124	466

※判定区分

A1 : 知的測定値が 35 以下で身体障害者福祉法に基づく障害の程度が 1 級又は 2 級に該当するもの。

A2 : 知的測定値が 50 以下で身体障害者福祉法に基づく障害の程度が 1 級、2 級又は 3 級に該当するもの。

B1 : 知的測定値が 50 以下で、上記 A2 に該当しないもの。

B2 : 知的測定値が 51 以上で、上記 B1 に該当しないもの。

第 11 : 施設等のサービスの利用状況

平成26年度 (単位:人)

	島内施設		島外(県内)施設		計
	入所施設	通所事業所	入所施設	通所事業所	
宮古島市	49	139	6	7	201
多良間村	0	0	0	0	0
宮古全域	49	139	6	7	201

4 母子及び父子並びに寡婦福祉

表 1：地区別ひとり親世帯の状況

平成26年度末現在

区分 地区別	総 世帯数 A	ひとり親 世帯数 B	比率 B/A	死別 C	比率 C/B	生別 D	比率 D/B	生別の原因				
								離婚	遺棄	未婚 の母	障害及 び疾病	その他
宮古島市	25,066	940	3.8%	17	1.8%	923	98.2%	802	3	108	7	3
多良間村	521	18	3.5%	0	0.0%	18	100.0%	15	0	3	0	0
計	25,587	958	3.7%	17	1.8%	941	98.2%	817	3	111	7	3

表 2：地区別ひとり親世帯の生活保護受給状況

平成26年度末現在

	宮古島市	多良間村	計
ひとり親世帯数	940	18	958
母子世帯数	824	12	836
生活保護受給世帯	36	2	38
保護率	3.8%	11.1%	4.0%

表 3：母子福祉資金年度別貸付状況

(単位:千円)

資金別	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
事業開始資金										
事業継続資金										
修学資金	5	3,048	4	1,974	3	1,346	2	2,180	3	1,985
技能習得資金										
修業資金							1	426	1	426
就職支度資金									1	400
医療介護資金										
生活資金										
住宅資金										
転宅資金										
就学支度資金			1	380	1	500				
結婚資金										
計	5	3,048	5	2,354	4	1,846	3	2,606	5	2,811

表 4：平成 26 年度母子福祉資金地区別貸付状況

(単位:千円)

地区村別 資金別	宮古島市		多良間村		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
事業開始資金					0	0
事業継続資金					0	0
修学資金	3	1,985			3	1,985
技能習得資金					0	0
修業資金	1	426			1	426
就職支度資金	1	400			1	400
医療介護資金					0	0
生活資金					0	0
住宅資金					0	0
転宅資金					0	0
就学支度資金					0	0
結婚資金					0	0
計	5	2,811	0	0	5	2,811

表 5：寡婦福祉資金年度別貸付状況

(単位:千円)

年度別 資金別	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
事業開始資金										
事業継続資金										
修学資金	1	720	1	1,152						
技能習得資金										
修業資金										
就職支度資金										
医療介護資金										
生活資金										
住宅資金										
転宅資金										
就学支度資金										
結婚資金										
計	1	720	1	1,152	0	0	0	0	0	0

表 6 : 年度別償還状況

(単位:円)

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
母子福祉資金	調定額	15,959,749	14,484,704	13,099,849	13,313,130	13,601,656
	収入済額	6,285,137	5,719,389	4,208,187	4,209,810	4,096,966
	償還率	39.4%	39.5%	32.1%	31.6%	30.1%
	未収入額	9,674,612	8,765,315	8,891,662	9,103,320	9,504,690
寡婦福祉資金	調定額	3,225,564	2,053,142	1,979,476	1,942,498	1,960,059
	収入済額	1,351,665	475,228	485,562	487,506	476,687
	償還率	41.9%	23.1%	24.5%	25.1%	24.3%
	未収入額	1,873,899	1,577,914	1,493,914	1,454,992	1,483,372
合計	調定額	19,185,313	16,537,846	15,079,325	15,255,628	15,561,715
	収入済額	7,636,802	6,194,617	4,693,749	4,697,316	4,573,653
	償還率	39.8%	37.5%	31.1%	30.8%	29.4%
	未収入額	11,548,511	10,343,229	10,385,576	10,558,312	10,988,062

表 7 : 母子・父子福祉協力員活動状況

平成26年度

勤務日数 (日)	活動件数 (件)
96	354

表 8 : 相談・指導状況

平成26年度(単位:件)

区分	生活一般					児童					生活援護					その他			合計				
	住宅	医療	家庭紛争	就労	結婚その他	養育	教育	非行	就職	その他	母子福祉資金	寡婦福祉資金	公的年金	児童扶養手当	生活保護	税	その他	売店設置		たばこ販売	母子世帯向公営住宅	母子福祉施設の利用	母子生活支援施設
件数											126	1											127

※平成22年8月1日より、母子家庭及び寡婦のみならず、父子家庭に対しても必要な支援を行うこととなった。

表 3：家庭児童相談室における年度別相談件数（延件数）

年度	種別	各年度末現在								
		習性・格等・生活	知能・言語	学校生活等	非行	家庭関係	環境福祉	障害	その他	計
平成22年度		1	0	1	1	3	0	3	13	22
平成23年度		1	0	0	1	3	0	0	16	21
平成24年度		0	0	0	1	9	2	0	5	17
平成25年度		0	0	0	0	3	1	0	2	6
平成26年度		0	0	0	0	31	0	0	2	33

表 4：家庭児童相談室における市村別相談件数（延件数）

市村名	種別	平成26年度								
		習性・格等・生活	知能・言語	学校生活等	非行	家庭関係	環境福祉	障害	その他	計
宮古島市		0	0	0	0	0	0	0	0	0
多良間村		0	0	0	0	31	0	0	2	33

表 5：助産施設設置状況

平成26年度末現在				
施設名	設置主体	種別	ベッド数	所在地
宮古病院	県	第一種	2	宮古島市平良字下里427-1

表 6：市村別助産施設入所措置件数

	各年度末現在				
	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年
宮古島市	2	4	2	2	4
多良間村	0	4	3	2	0
計	2	8	5	4	4

表 7：保育所設置状況

	平成26年度末現在							
	公立保育所		法人保育所		認可外保育施設		計	
	設置数	児童数（定員）	設置数	児童数（定員）	設置数	児童数	設置数	児童数
宮古島市	10	689(815)	12	974(915)	11	470	33	2,133
多良間村	1	38(45)					1	38
計	11	727(860)	12	974(915)	11	470	34	2,171

6 地域福祉

(1) 民生委員・児童委員

ア 民生委員・児童委員の活動状況（平成 26 年度）

表1：内容別相談・支援件数

相談内容	支援件数	構成比(%)
在宅福祉	180	4%
介護保険	75	2%
健康・保健医療	138	3%
子育て・母子保健	143	3%
子どもの地域生活	392	9%
子どもの教育・学校生活	242	6%
生活費	150	3%
年金・保険	57	1%
仕事	35	1%
家族関係	146	3%
住居	33	1%
生活環境	238	5%
日常的な支援	846	19%
その他	1,689	39%
計	4,364	100%

表2：分野別相談・支援件数

相談内容	支援件数	構成比(%)
高齢者に関すること	1,601	37%
障害者に関すること	425	10%
子どもに関すること	1,133	26%
その他	1,205	28%
計	4,364	100%

表3：その他の活動件数

活動内容	活動件数	構成比(%)
調査・実態把握	1,095	18%
行事・事業・会議への参加協力	1,287	21%
地域福祉活動・自主活動	2,110	35%
民児協運営・研修	1,145	19%
証明事務	300	5%
要保護児童の発見の通告・仲介	73	1%
総数	6,010	100%

表4：活動等の総合計件数

活動内容	回数・日数
訪問回数	6,726 回
連絡調整回数	2,855 回
活動日数	8,377 日

イ 宮古管内民生委員・児童委員協議会会長・副会長名簿（平成 26 年度末現在）

民児協名	役職名	氏名	電話番号	担当地区名
平良第一民児協	会長	砂川栄	72-3193	漲水・北西里・根間・下屋・仲屋・旭・高阿良・東川根・仲保屋・保里・荷川取・宮原・高野・添道・下崎・成川・福山・西原・大浦・大神・島尻・狩俣・池間・前里
	副会長	平良美千代		
	〃	花城愛子		
平良第二民児協	会長	宮國恵昇	72-3193	南西里・神屋・大三俣・上角・前比屋・出口・大原・馬場・腰原・羽立・東・栄・富名腰・久貝・松原・七原・地盛・山中・野原越・細竹・盛加
	副会長	池田幸子		
	〃	下地節子		
城辺民児協	会長	砂川美枝子	77-7930	保良・吉野・新城・七又・皆福・福東・福中・福西・福北・福南・西東・仲原・加治道・比嘉・長北・長南・長中・西西・吉田・上区・西中・下南・砂川・友利
	副会長	伊良部寛		
	〃	松川順子		
伊良部民児協	会長	中村尚司	78-5973	伊良部・仲地・国仲・長浜・佐和田・池間添・前里添
	副会長	川上百合子		
	副会長	佐和田立子		
下地・上野民児協	会長	下地美智子	76-2270	来間・川満・洲鎌・与那覇・上地・高千穂・入江・嘉手苅 宮国・名加山・大嶺・上野・野原・高田・豊原・新里・千代田
	副会長	川満廣俊		
	〃	兼島政芳		
多良間村民児協	会長	知念信雄	79-2679	大木・吉川・大道・嶺間・仲筋
副会長				

ウ 宮古管内民生委員・児童委員配置状況（平成 26 年度末現在）

	定数	現員	男性	女性
平良第一民児協	30 (2)	29 (2)	10 (2)	19 (0)
平良第二民児協	33 (2)	32 (2)	5 (0)	27 (2)
城辺民児協	24 (2)	23 (2)	11 (1)	12 (1)
伊良部民児協	21 (2)	19 (2)	6 (0)	13 (2)
下地・上野民児協	16 (2)	16 (2)	5 (0)	11 (2)
多良間村民児協	5 (2)	4 (2)	2 (1)	2 (1)
合計	129 (12)	123 (12)	39 (4)	84 (8)

※ () は、主任児童委員の人数である。

(2) 社会福祉協議会

◎宮古管内社会福祉協議会

名称	住所	電話
宮古島市社会福祉協議会	宮古島市城辺字西里添788-3	0980-77-8661
宮古島市社会福祉協議会平良支所	宮古島市平良字久貝706-1	0980-72-3193
宮古島市社会福祉協議会城辺支所	宮古島市城辺字西里添788-3	0980-77-7930
宮古島市社会福祉協議会下地支所	宮古島市下地字上地628-7	0980-76-2270
宮古島市社会福祉協議会上野支所	宮古島市上野字新里420-2	0980-76-2540
宮古島市社会福祉協議会伊良部支所	宮古島市伊良部字前里添1101	0980-78-5973
多良間村社会福祉協議会	多良間村字仲筋160	0980-79-2679

(3) ハンセン病対策

◎宮古島内での主な普及啓発活動（平成26年度）

普及啓発内容	実施主体	実施日
ハンセン病を正しく理解する月間	沖縄県・公益財団法人沖縄県ゆうな協会	6月
宮古南静園 納涼祭り	国立療養所宮古南静園	8月6日

連絡会議の構成員

①宮古南静園	自治会 退所者の会 福祉室	③みやこ・あんなの会 ④宮古島市健康増進課 ⑤沖縄県宮古福祉保健所
②ハンセン病と人権市民とネットワーク宮古	⑥その他、連絡会議が必要と認める者	

◎相談窓口

県内のハンセン病相談窓口

機関名称	電話番号
公益財団法人 沖縄県ゆうな協会	098-832-9528
国立療養所 沖縄愛楽園	0980-52-8331
国立療養所 宮古南静園	0980-72-5321
沖縄県保健医療部 薬務疾病対策課 疾病対策班	098-866-2215
北部福祉保健所 地域福祉班	0980-52-0051
中部福祉保健所 生活保護班	098-938-9709
南部福祉保健所 生活保護班	098-889-7150
宮古福祉保健所 福祉班	0980-72-3771
八重山福祉保健所 福祉班 地域福祉チーム	0980-82-2330

県外のハンセン病相談窓口

機関名称/電話番号
社会福祉法人 ふれあい福祉協会 03-5302-8480
社会福祉法人 大阪府 総合福祉協会 06-6563-2091
厚生労働省 健康局疾病対策課 03-5253-1111 (内2369)

7 配偶者暴力相談支援に関すること

(2) 相談状況

表 1 主訴別受付状況

区分	人間関係												住居問題	移住先なし	経済関係				医療関係				不純異性行為	売春強要	暴力団関係・ヒモ	5条違反	合計		
	夫等			子供			親族			家庭不和	その他の暴力	男女関係			その他	生活困窮	サラ金・借金	求職	その他	病気	精神的問題	妊娠・出産						その他	
	夫等の暴力	薬物の中毒・酒乱	離婚問題	その他	子供の暴力	養育不能	その他	親の暴力	その他の者の暴力																				その他
H22年度	51	0	12	6	2	0	0	0	3	0	0	3	0	7	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	87
H23年度	120	0	13	6	0	0	1	0	0	5	0	8	0	10	5	0	1	0	0	5	0	4	6	4	0	0	0	0	188
H24年度	83	0	4	29	0	0	20	1	4	1	1	20	0	4	6	6	3	1	4	1	1	6	0	1	0	0	0	196	
H25年度	148	1	15	27	0	1	21	1	1	1	0	13	0	4	18	0	9	0	11	1	1	2	1	5	0	0	0	281	
H26年度	79	1	24	64	1	0	14	0	1	0	0	3	4	1	7	0	0	0	0	7	0	5	0	0	0	0	0	211	

表 2 経路別受付状況

区分	本人自身	警察関係	法務関係	他府県の婦人相談員	他の婦人相談員	福祉事務所	他の相談機関			社会福祉施設	医療機関		教育関係	労働関係	縁故者・知人等	その他	合計
							児童相談所	民生委員	その他		保健所	医療施設					
H22年度	51	11	3	0	7	2	0	0	4	0	0	2	0	0	7	0	87
	(42)	(9)	(2)		(6)	(2)			(2)		(2)			(4)		(69)	
H23年度	139	6	4	0	3	3	4	0	2	0	0	4	11	0	9	3	188
	(123)	(6)	(4)		(3)	(3)	(1)		(2)		(3)	(9)		(4)	(0)	(158)	
H24年度	153	6	0	1	0	2	3	0	9	1	0	1	10	0	6	4	196
	(106)	(6)	(0)	(1)	(0)	(1)	(1)	(0)	(8)	(1)	(0)	(0)	(8)	(0)	(1)	(4)	(137)
H25年度	170	24	14	0	2	10	2	0	27	3	1	4	3	0	20	1	281
	(137)	(17)	(4)	(0)	(0)	(3)	(0)	(0)	(6)	(0)	(0)	(1)	(3)	(0)	(6)	(0)	(177)
H26年度	178	13	0	0	3	8	0	0	5	0	0	0	0	0	4	0	211
	(120)	(10)	(0)	(0)	(1)	(2)	(0)	(0)	(5)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(138)

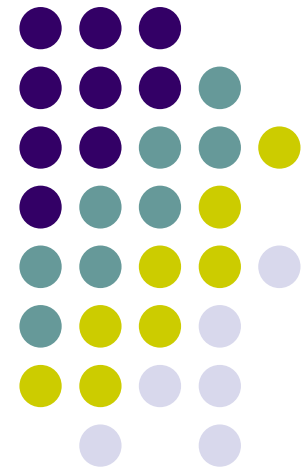
上段は相談件数。カッコ内は、全相談のうち内容がDVに関する相談であるものの件数

平成27年度 保健所運営協議会
資料

(2015年8月6日)

乳幼児のむし歯予防 対策事業について

宮古福祉保健所
健康推進班



内容



1. 健康おきなわ21（第2次）計画
2. 3才児むし歯有病者の現状
3. 今後の目標と取り組み

1. 健康おきなわ21（第2次）



健康日本21

国の計画

H12

H24

H25

H29

H34年度



健康おきなわ21

沖縄県の計画

H13

H20

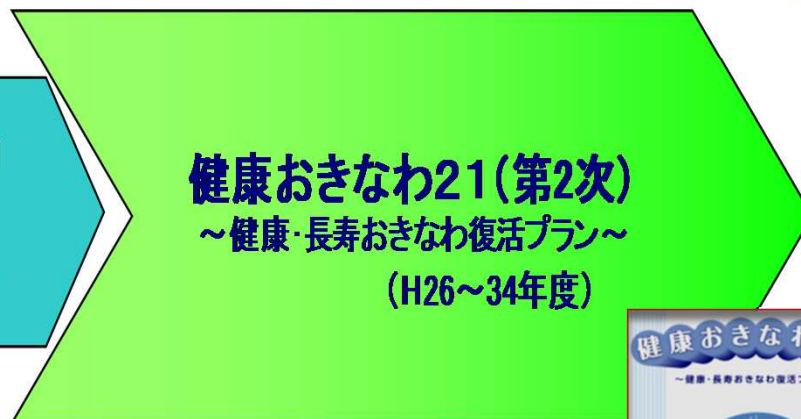
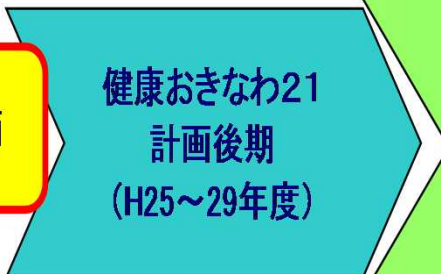
H24

H25

H26

H29

H34年度



健康おきなわ21(第2次)

歯と口の健康(目標値)



- ①3歳児むし歯有病者率の減少
⇒県(H34年)20%
- ②毎日の仕上げ磨きの増加(1.6才児)
⇒県(34年)80%
- ③フッ化物塗布を受けた事のある3才児
の増加
⇒H34年(県90%)
- ④フッ化物洗口を実施している保育所、幼稚園
小・中学校の増加

2. 現状

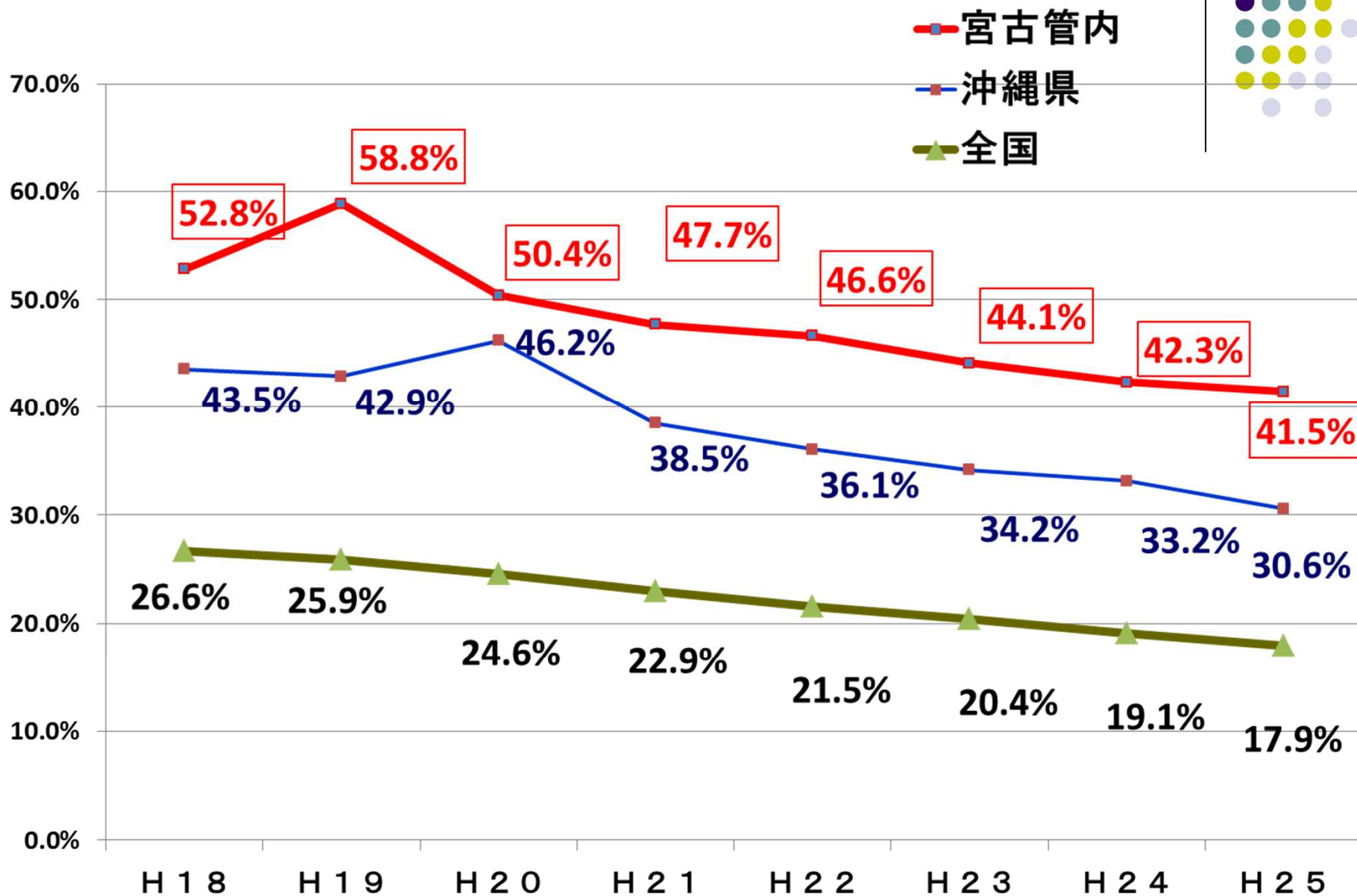
沖縄県の3歳児のむし歯の有病状況は徐々に改善している。

しかし、H19年～H21年連続全国ワースト1位。H22年から最下位からぬけたもののH25年はワースト2位の状況である。

宮古地区では同じように減少傾向であるが、依然として沖縄県では最下位の地区となっている状況である。



3歳児 う蝕有病者率



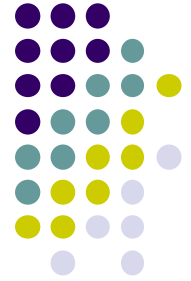
「フッ化物応用」の取り組み



- 当保健所管内は乳幼児のむし歯有病者率が県内でも高い状況にあり、歯科医師会、市町村、関係者等からなるネットワークを構築し、平成15年から伊良部地区 南保育所を皮切りにむし歯予防に有効なフッ化物洗口の取り組みを開始した。
- 平成19年度までには、宮古島市、多良間村の公立・法人・認可外保育施設まで、取り組みが拡大した。

「フッ化物洗口事業」の取り組み 保護者説明会





3. 今後の目標と取り組み

①3歳児う蝕有病者率の減少

⇒ 宮古H25(41.5%) ⇒ 県(H34年)20%

②毎日の仕上げ磨きの増加(1.6才児)

⇒ 宮古H25(65.1%) ⇒ 県(34年)80%

③フッ化物塗布を受けた事のある3才児の増加

⇒ 宮古H25(54%) ⇒ H34年(県90%)

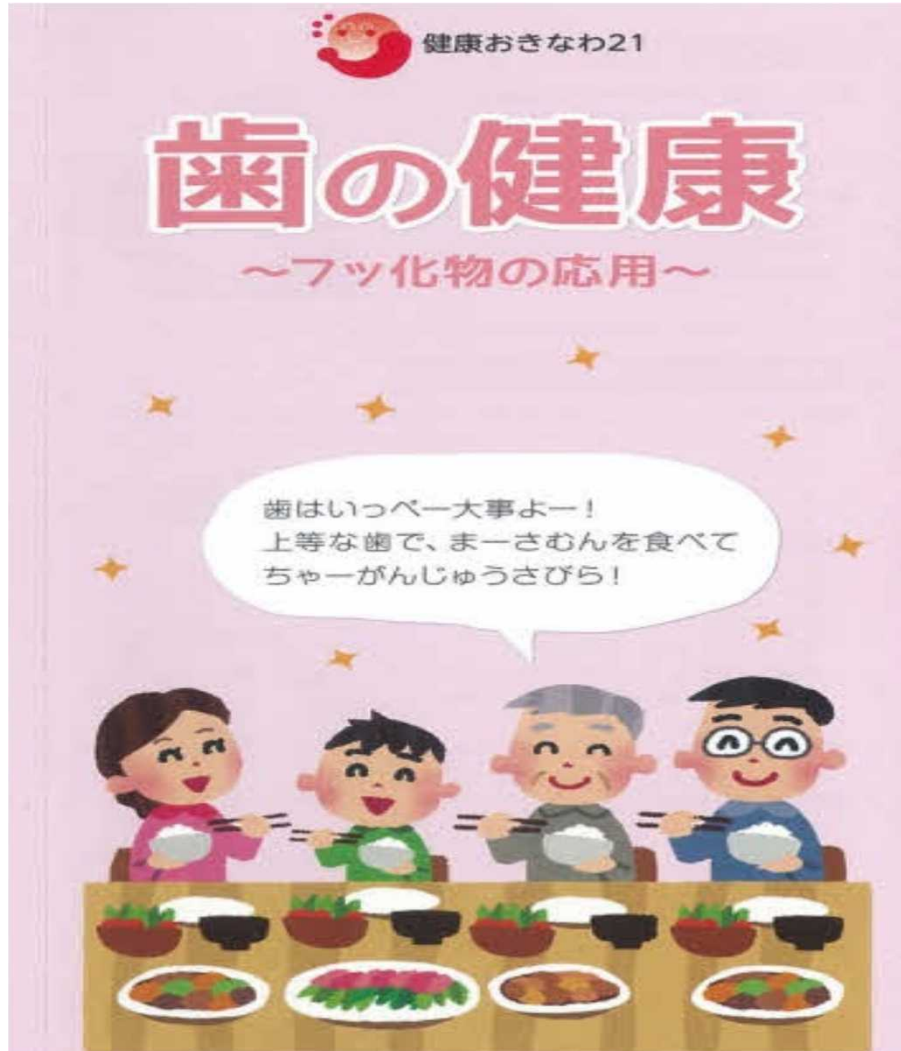
取り組み

市・村、歯科医師会等と連携した普及啓発

★幼児健診時の歯科保健指導の強化

★保育園児の保護者へむけた健康教育

市・村、歯科医師会等と連携した 普及啓発



子どもにきれいな歯の プレゼント

むし歯をつくらないためには

むし歯菌を減らすには
歯磨きでコントロール

おやつ(糖分)をだらだら食べていると、口の中はつねに酸が発生しやすい環境になっていきます。

仕上げ磨きをしてあげましょう。



特にむし歯になりやすい部分
★奥歯の溝 ★歯と歯の間



子どもの歯は表面が柔らかい状態です。
フッ素塗布(歯科医院で受診塗布)や
フッ素洗口うがい液を上手に利用し
丈夫な歯を作りましょう。

はみがき かれんだあ

1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

みがいたら
いろをぬってね



沖縄県宮古福祉保健所 健康推進班
TEL (0980) 73-5074



ご清聴ありがとうございました。